

呼気アルコール濃度測定に基づく飲酒が 行動パフォーマンスに与える影響評価

◆研究対象者

- 20～65歳の男性
- 過去3か月以内に、エタノール20g（ビール500ml相当）以上の飲酒を、週1回以上の頻度で日常的に行っている方
- 会場（HaCC豊中）まで徒歩あるいは公共交通機関で来られる方

◆謝金 QUOカード 5000円

実施要領

■ 実施フロー

1 2 : 0 0 集合・受付・測定準備・食事（弁当）・手順の確認等

- ①体組成計（InBody）での計測、②水歯みがき＋うがい、③アルコール分解型判定キットサンプリング、④食事（弁当）、⑤概要説明・記録紙確認、⑥TMT練習（TMT-A、TMT-Bを3回ずつ）、⑦問診票記入、⑧チェッカー動作確認、⑨パルスオキシメーター（PO）動作確認、

1 2 : 5 0 血圧測定＋TMT-AとTMT-Bを各3回実施＋閉眼片足立ちテスト＋パルスオキシメーター装着

1 3 : 0 0 飲酒開始 ビール（5%）500ml 1本 ※コップに3回に分けて12分間で均等に飲む

1 3 : 1 2 飲酒終了 ⇒ 水での歯磨き・うがい

1 3 : 1 5 血圧＋呼気アルコール＋閉眼片足立ちテスト＋パルスオキシメーター

1 3 : 3 0 血圧＋呼気アルコール＋TMT-AとTMT-Bを各3回＋パルスオキシメーター

1 3 : 4 5 血圧＋呼気アルコール＋閉眼片足立ちテスト＋パルスオキシメーター

1 4 : 0 0 血圧＋呼気アルコール＋TMT-AとTMT-Bを各3回＋パルスオキシメーター

1 4 : 1 5 血圧＋呼気アルコール＋閉眼片足立ちテスト＋パルスオキシメーター

1 4 : 3 0 血圧＋呼気アルコール＋TMT-AとTMT-Bを各3回＋パルスオキシメーター

1 4 : 4 5 血圧＋呼気アルコール＋閉眼片足立ちテスト＋パルスオキシメーター

1 5 : 0 0 血圧＋呼気アルコール＋TMT-AとTMT-Bを各3回＋パルスオキシメーター

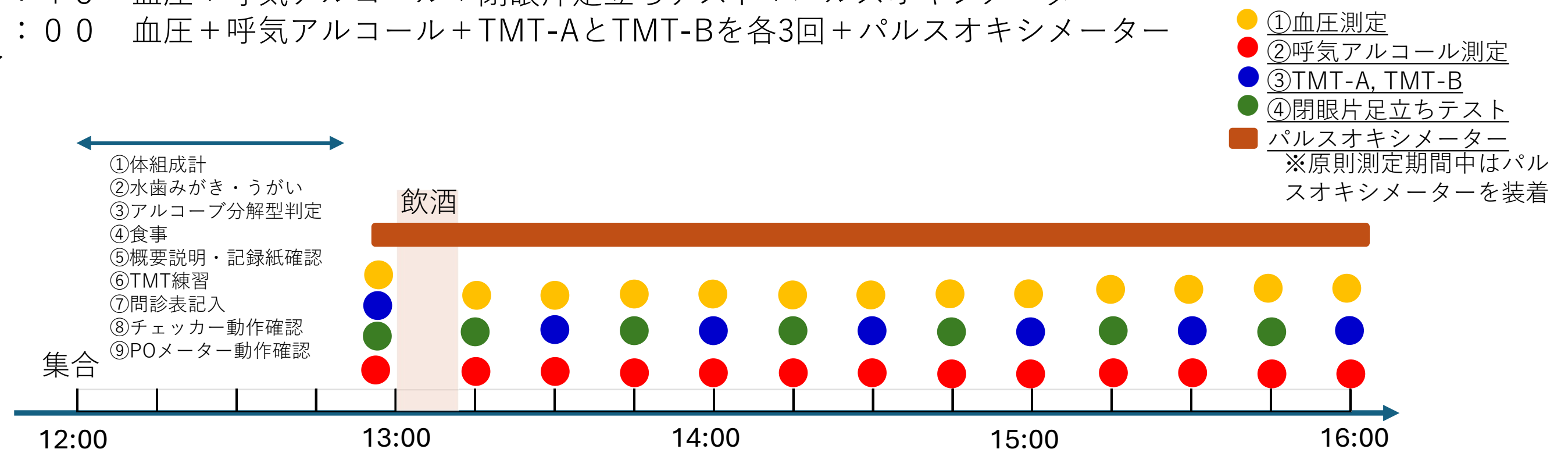
1 5 : 1 5 血圧＋呼気アルコール＋閉眼片足立ちテスト＋パルスオキシメーター

1 5 : 3 0 血圧＋呼気アルコール＋TMT-AとTMT-Bを各3回＋パルスオキシメーター

1 5 : 4 5 血圧＋呼気アルコール＋閉眼片足立ちテスト＋パルスオキシメーター

1 6 : 0 0 血圧＋呼気アルコール＋TMT-AとTMT-Bを各3回＋パルスオキシメーター

終了



アルコールチェッカー

飲酒



フィガロ技研（株）HPより

使用した測定機器等

血圧計



体組成計



パルスオキシメーター



ニプロHPより

アルコール分解型検査



<https://visgene.com/product/>

お酒に強い・弱いは“経験”ではなく
“遺伝子”で決まる



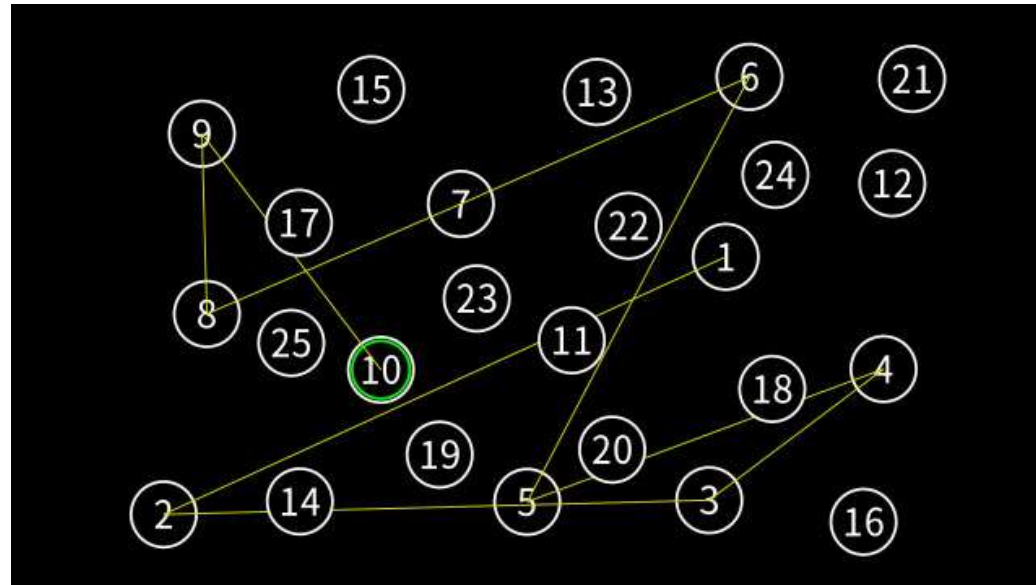
ADH1B：アルコールをアルデヒドに変える酵素

ALDH2：アルデヒドを酢酸に代謝して無害化する酵素

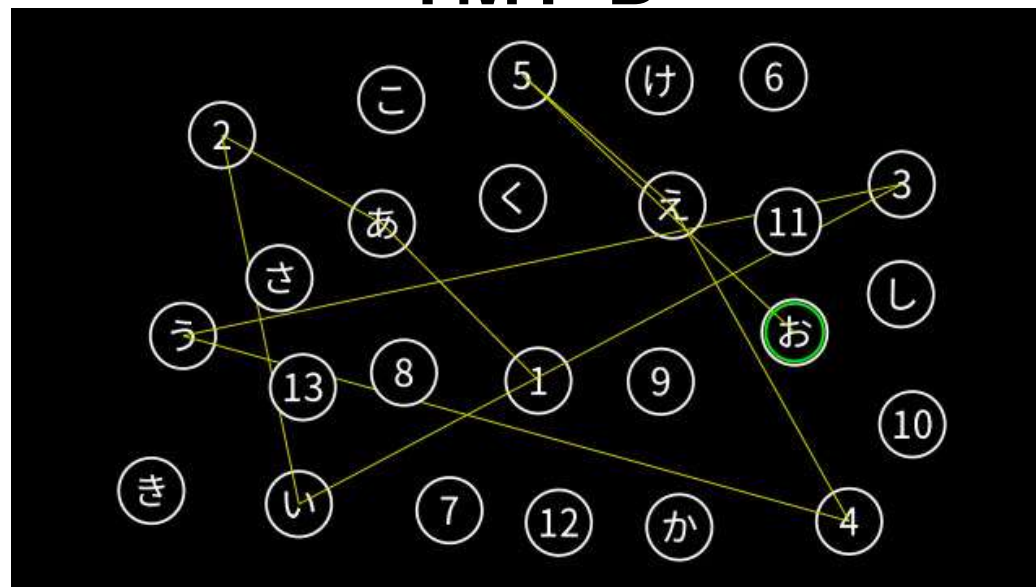
遺伝子タイプ	アルコール分解レベル	アドバイス
わく 日本人の割合 54%	アルコール → 速い → アルデヒド → 速い → 酢酸	飲酒頻度・飲酒量が多く 二日酔いになりやすいタイプ (飲酒量管理が必要)
ざる 日本人の割合 4%	アルコール → 遅い → アルデヒド → 速い → 酢酸	ストレスが原因でアルコール 摂取が増えるタイプ (ストレス管理が必要)
なみ 日本人の割合 3%	アルコール → 遅い → アルデヒド → 遅い → 酢酸	病院受診率が高く、自制困難 な状態に陥るタイプ (健康モニタが必要)
さる 日本人の割合 33%	アルコール → 速い → アルデヒド → 遅い → 酢酸	飲めないのに、つつい飲み すぎて後悔するタイプです (自制コントロールが必要)
げこ 日本人の割合 7%	アルコール → 速い → アルデヒド → できない → 酢酸	そもそも飲酒を やめるべきタイプ (アルコールを避ける)

トレイルメイキングテスト (TMT-A&B)

TMT-A



TMT-B



視覚的注意や情報処理速度、遂行機能といった認知機能を評価するための注意力検査。

閉眼片足立ちテスト

(1) 方法 両手を腰に当て、眼を閉じ、左右どちらでも立ちやすい側の足で片足立ちになる。軸足が少しでもずれたり、上げた足が床に着いた時点で終了。

(2) 目を開けての片足立ちから合図と共に目を閉じ、計測開始。終了までの時間を測定する。

(3) 実施上の注意 腰に当てた手を離さず、上げた足は軸足に触れないようにする。

